

不登校に悩む子どもたちや保護者の相談及び直接の支援を行います。



不登校・ひきこもりサポートセンターとは



福岡県立大学「不登校・ひきこもりサポートセンター」は、不登校やひきこもりに悩む子どもたちの将来の社会的自立を目標にした、専門的な支援をおこなう機関です。子どもの状態に応じた個別や集団による直接的な支援とともに、保護者や家庭への支援、学校や適応指導教室への支援、他の専門支援機関との地域連携ネットワークの強化など、子どもと子どもを取り巻く環境の双方に対して支援をします。

福岡県立大学には、福祉・保健・心理などの分野から、不登校・ひきこもりの児童生徒への支援を研究する専門的教員が多くいます。これら専門教員と県立大で学ぶ大学生、大学院生、そしてサポートセンターの専門職員が一体となり、「相談部門」、「連携サポート部門」、「情報発信・研修部門」、「教育・社会支援部門」の各部門を連動させ、総合的な支援をおこないます。

特色ある活動のご紹介



子どもを支えるネットワーク作りのための相談

不登校の子どもや保護者、教育関係者に対し、どのような支援が可能か、他機関とともにどのような支援体制を整えられるかを考えいきます。専門職員が話をつかがい、センターの各支援事業とともに様々な関係機関を活用しながら、不登校の子どもをサポートしていくための環境を一緒に整えていきます。

不登校やその支援に関する相談をご希望の方は、まずお電話でご連絡ください

県大子どもサポーターによる支援

学校に行けない、友達とも遊べないなどで、家にとじこもりがちな子どもたちを多様な場で支援するボランティアです。全員が福岡県立大学で学ぶ学生で、心の中の寂しさや孤独に悩む子どもたちの心の支えになるために、子どもたちの遊び相手、話し相手となって子どものよき理解者となります。

個別スーパービジョンの提供

学校や子どもの支援機関・団体などで、対応に困っているケースに対してのスーパービジョンの依頼を受け入れます。ケースの特徴に応じて、福祉・保健・心理・精神医学などの専門教員がアドバイスをいたします。

オーダーメイド研修の提供

不登校に関する教育研修講座やワークショップを提供いたします。各機関の要望に応じて企画をおこないます。また、不登校問題に関心の深い学校教員等を研修員として受け入れます。